

(このテキスト転写はブログ管理者によるものです。できるだけ当時の表記に合わせて転写しているつもりですが、間違いなども当然あるかと思えます。何かご指摘などがあればご連絡いただくと幸いです。該当の漢字が見つからないなどの理由で、現在の文字で代用するなど、一部当時の表記にできなかった部分もあります。ご了承ください)

一館一畫一評

▲帝國館(ていこくくわん) ▼『ロメオ』廣告(くおうこく)と映畫其物(えいぐわそのもの)が違(ちが)つて居(ゐ)る場合(ばあひ)に妙(めう)な失望(しつぼう)を感(かん)ずるものだ、先年(せんねん)ユ社(ユ)が『海底(かいてい)六萬哩(まんマイル)』出(だ)すと云(い)ふと其當時(そのたうじ)の天活(てんくわつ)は大同小異(だいどうそうい)の名(な)で、寶石入(ほうせきいり)の箱(はこ)が河底(かはそこ)に落(お)ちる映畫(えいぐわ)を見(み)せた時(とき)に、問題(もんだい)になつたと覺(おぼ)えて居(ゐ)る。ロツテ・ナウマン嬢(じやう)の妙技(めうぎ)は之(こ)れ! 『ロメオとジュリエット』早合點(はやがてん)して沙翁劇(さおうげき)をそのままとばかり思(おも)ひ急込(せきこ)んで行(い)つて見(み)れば、プロには Romeo and Tullia in Snow とあり、實際(じつさい)は茶番大悲劇(ちやばんだいひげき)、然(しか)も館内(くわんない)の番組(ばんぐみ)には『田舎ロメオとジュリエット』、秀水(しうすゐ)の説明舊劇臺詞(せつめいきやうげきせりふ)もどきで大車輪(だいしやりん)、それで足(た)りなくて、オーケストラは「かつぼれ」や「何處(どこ)までも一いとやせぬ」もやる。本來無言(ほんらいむぐん)の映畫劇(えいぐわげき)に音樂(おんがく)、一秒時間(べうじかん)も不可離(ふかり)の妙味(めうみ)を出(だ)せるもので嚴(やかま)しい問題(もんだい)だ之(こ)れが淺草式(あさくさしき)だと言(い)ふならそれ迄(まで)である、樂天(らくてん)の居(ゐ)る帝國館(ていこくくわん)である。最(も)う少(すこ)し高尚(こうしやう)な取扱(とりあつか)ひは出來(でき)なかつたろうか、豫期(よき)を裏切(うらぎ)られ「かつぼれ」の伴奏(ばんそう)があり、増(ぞう)悪(あく)を催(もよぶ)す映畫情趣破壞(えいぐわじやうしゆはくわい)の説明(せつめい)が、餘計(よけい)に加(くは)へられ、之(こ)れを聞(き)いたらロツテさんも泣(な)くでせう